

インクルーシブフットボールフェスタ Ibaraki 2021

令和4年3月6日(日)

場所：水海道総合体育館

参加人数：60人

レポート

当日は、フットサル委員会の協力を得て、また、茨城県商工会青年部連合会様から協賛をいただき、地元常総市内のFCバンビーノ(Jr)・FCレガス(Jrユース)の小中学生、ゲストにデフサッカーからIDFC選手1名・アンプティサッカーからFCアウボラーダ選手2名・知的障がい者サッカーから茨城代表選手2名が参加し、フットサルと障がい者サッカー体験会を行いました。

障がい者サッカー選手が各チームに入ってのませこぜフットサル、小中学生対障がい者サッカーードリームチームとの対戦など、大いに盛り上がりましたが、1番印象的だったのは交流でした。

気がつくとも小学生の子どもたちを中心に、アンプティの選手たちのところに行って、クラッチの使い方を聴いたり、デフの選手のところへ行って、ホワイトボードを使って会話したり、手話や指文字を教えてもらったりと、自然と交流が生まれる様子に、このフェスタの1番大切なところを改めて実感することができました。

今後もサッカーやフットサルを通じてインクルーシブな社会の実現を目指していきます。

(インクルーシブ委員会 今橋)

